



f いいね!

2

Tweet

7

+1

0

iza ブログ

0



木造向け 1 部屋用の耐震シェルター開発 デリス建築研究所

Business 1 2013/05/30 11:14



注文建築を手がけるデリス建築研究所(横浜市西区)は、一般住宅の1部屋を耐震化するシェルター「シェルキューブ」を開発し、販売を始めた。耐震性の低さが懸念されている古い木造家屋をターゲットに、初年度は月間10件の受注を目指す。

デリス建築研究所が開発したシェルキューブは、家屋内の1部屋を耐震補強して、巨大地震発生時の全壊を免れ、居住者や財産を守るのが目的だ。対象とする部屋の内部に鉄骨材を使ったフレームを設置した上、壁や天井など内装を施す。専門機関による性能確認試験では、垂直荷重性能が100トン以上あることを確認したという。「鉄骨を組んだ後に壁や天井を新設するので、完成形は既存住宅のリフォームに近く、設置後も暮らしやすいようにした」(担当者)。工期も1週間ほどで、参考価格は6畳部屋の場合350万円(税別)。

また、家屋全体の耐震性を確保したい人向けに、耐震補強と外装デザインを一体化した「デザイナーズ耐震90°(きゅうじゅうど)」を開発した。住宅の隅などに、L字型に鉄骨フレームを組むことで、窓などを塞ぐことなく耐震性を向上させる。住宅外観を損なわないよう、外壁材で覆うという。耐震診断の実施後に設置力所を決めるが、1カ所当り68万7500円(同)で工期は最短5日間。

→ 「日中協力の推進を」耐震建築普及の…

→ 照明、配管の耐震性、全国調査へ 地震…

[記事全文を表示する](#)